



# Q 多様な生き方が尊重される社会に

## A 住民の意識啓発に取り組む



多様性を守るレインボーフラッグを



宮崎睦子 議員

Q 「※LGBT・性的マイノリティの人権課題・差別の所在と実体験から」というテーマでの講座が、今夏、庁舎内で開催された①強調されたことと参加者の反応は②教育関係者の反応は③性差による多様な生き方が尊重される社会に向けた今後の展開は④LGBTの方の3割が排泄障害といわれている。多目的トイレに6色のレインボーフラッグの掲示を求める。

A ①ご自身の体験を通して「当事者には、社会の中で貴重な存在であると思つてほしい。また、

※LGBTとは 性的少数者のことなどを表すことば

カミングアウトされた時は、信頼されていることを誇りに思い、事実を受け入れ、肯定の言葉をかけてほしい」と強調された。アンケートには、当事者や、身近な方々からと思われる感想も寄せられた②人権教育を推進するため、関係者間での情報共有に努める③理解や関心が高まるよう、住民の意識啓発に取り組む④誰でも気軽に利用できるよう、今後研究する。



松田孝枝 議員

# Q 就学援助の「入学準備金」は3月に支給を

## A 必要性は認識。課題整理が必要



巻き上げが大変なゴミステーション

# Q 緑豊かな野山を守るために条例制定を

## A 実態を把握、実例など調査し判断する



山本清悟 議員



豊かな緑を守る町条例の制定を

質把握で、汚濁発生の未然防止に努める③祝園弾薬支処周辺の森林地域と旧山田荘地域を山のゾーンと位置づけ、人と自然が共生できる里山空間の

A ①水質汚濁防止法で排水や地下水に対する規制がある町環境保全協定で、公害防止に努めている②水質検査を12河川の17カ所で年2回実施。水質確保は③乱開発や自然破壊に対する保全は。

Q 山のゾーン、ふれあいゾーンの環境保全について①飲料水活用の地下

貴重な森林を保全する。

Q 独自の条例制定は、土砂採取・搬入で、近隣2市は条例でハードルを高くしている。本町の条例の制定は。

A 府の条例で町の要望など取り入れて許可し、府の規制が効果を發揮。現行で対応する。

Q 緑豊かな野山を守る地域の実情に合った条例が必要では。

A 今後予測される開発などに関して、実態を把握し、実例など調査し適切に判断する。

Q 『ささえ合い交通』についても質問しました。

A 『ささえ合い交通』は、許可していません。

# Q 連節バスはどうなる



青木 敏 議員

## A 駅前交通広場北側を拡張する予定



誰でも利用できるライドシェア（京丹後市のホームページより）

公共交通の改善と提案する「くるりんバス」の拠点を効率的に往復するルート変更は、1ルート1時間弱で不便を感じる方もいるができる限り効率的に運行する。

A 不便を感じる方もいるができる限り効率的に運行する。

Q NPO法人などに登録した人の車で、料金がタクシーの半分程度で誰もが利用できるライドシェアの導入を。

A 住民ニーズの多様化で課題認識はあるが、現時点での予定はない。

Q 連節バス運行に伴い駅前交通広場への一般車の乗り入れが不便になる。

A 昭和35年の協定書以外はない。情報交換もしない。

Q 祝園弾薬庫を考える 弾薬庫、自衛隊との情報交換や協定などはな

いのか。

A 同様の案を検討したが、利用者が横断歩道を渡るなどで断念した。駅前広場を北側に拡張する案を考えている。

## Q 桜が丘 住民サービスコーナー存続を

**A** マイナンバーカード申請が9000枚になると撤収する



なくさないサービスコーナー



三原和久議員

① 過去の一般質問で、桜が丘住民サービスコーナーの充実について指摘し、質問した。住民票や印鑑証明など各種証明書を取りに行けない交通弱者や、高齢者などが気軽に受けられるとして設置されている。サービスコーナーを利用する住民から時間延長の要望があつた。平成24年10月22日から、証明書等自動交付機の利用時間を午後6時まで延長し、さらに土日・祝日の証明書発行が可能になり地域住民の方は大変喜んでいる。しかし、住民カードからマイナン

バーカード移行とともにない、今後、住民サービスコーナーの在り方は。① 証明書等自動交付機は耐用年数が超過しており、対策が大きな課題で、今後、自動交付機発行から、コンビニ交付に移行する。

① 現在のマイナンバーカードの申請枚数は。① 平成31年3月末をめどと



森元 茂議員

## Q 買い物困難地域の課題解決を

**A** 安心して暮らせる環境づくりに取り組む必要がある



これも一つの方法

① 町内の高齢者などが飲食料品の購入に不便を感じる買い物困難地域として、下駄地域、桜が丘地域が考えられる。精華の会は、国の補助金事業で地域自立型買い物弱者対策支援事業の先進地である群馬県高崎市を視察した。買い物困難を少しでも減らす方向についての考えは。

① 福祉サービス店、商業者など町内150社ぐらいい加盟している方々を巻き込んだ中で、ニーズを伝えながら行政のみならず、どこかのサービスを使つて補完できないかを考える。生活支援コーディネーターがどのようない町内の資源を活用できるかな

## Q 町南部に コミセンの早期整備を

**A** 平成31年度以降に基本構想の整備を推進



柚木弘子議員



「喫茶・こころ」今日もおいしいパンづくり

① 町の他の重点事業の調整をはかり平成31年度以降に整備を推進する。  
① 南部コミセンに持たせる機能は。  
① 基本構想を作る中で、住民・地域の団体の意見を聞き、必要な機能の検討を進める。

障がい者の就労と生活の支援を

① 障がいのある人たちも、自立と社会参加を求めている。南山城支援学校卒業生の就職状況は。  
① 注目すべき取り組みだと認識。実際に合った連携を研究する。  
① グループホーム入居希望者の入居達成は。  
① 利用者のニーズを把握し、事業者と連携を図り対応していく。

## Q まちをきれいにする条例の成果は



塩井幹雄議員

**A** 以前より改善している



ポスターで注意喚起

「まちをきれいにする条例」が制定され6年が経過した。多くの企業が進出する中、町の美化についてはボランティア団体・住民の協力で美しくなつたが、まだ改善の余地がある。

① 現在の活動状況と成果は②モラル啓発と住民意識改革は③美化に対する課題と方針は。

①「華創」への啓発記事の掲載、バス停留所へのポスター掲示、公園には看板などを設置した。結果、犬のふん放置・ポイ捨てについては減少した②条例の禁止行為であ

る犬のふん放置・ポイ捨て禁止などの周知啓発に取り組む。また子どもたちに対する環境教育で啓発を行い、全住民の意識向上に努める③依然として一部の犬のふん放置・ポイ捨てが課題。引き続き条例の禁止行為の周知啓発に取り組む。環境活動団体の相互連携。情報交換の場の環境プラットホームを活用して、情報共有が図られる。今後も進めていく。



① 山田荘小学校区にはコミニティセンターが未設置である。南部コミセン設置の進捗は。

① 今年度卒業予定者の進路状況はほぼ決まっており。今後、事業所の受け入れが課題であり、希望の事業所入所は厳しい状況がある。今、農業と福祉がつながっているが、本町で

なる取り組みが、注目され

る可能性は。広がっているが、本町で

ながり、地域を元気にす

る取り組みが、注目され

る可能性は。

① 今、農業と福祉がつ

ながり、地域を元気にす

る取り組みが、注目され

る可能性は。

# まなび・生かす

管外研修

常任委員会

予算決算

一般質問

まなび・生かす

街をつくる人

# その後を追う どこまで進んだの!?

議会だより 154号より  
(H28.11.1発行)

## 観光農業を生かしたシティプロモーションは

**その時の答** 地域観光資源の掘り起こしを行い、推進する。

**その後現在は** …… 体験型観光農園の再構築に向け地方創生交付金を活用した立上げ支援を行い、初年度は約8,600人の来場者を受け入れた。今後も引き続き、いちご栽培農家の経営支援に努めるとともに京都府立大学と連携し、新たに開発された洛いも焼酎やいちごジャムを始めとした従来からの特産加工品と京町セイカを有効的に活用することで、シティプロモーションの更なる推進に繋げます。 (産業振興課)

## 発達障がい児などの学習支援にデイジー教科書の導入を

**その時の答** 児童生徒、保護者など関係者の理解を得ながら特別支援学級の導入に向けて検討を進めている。

**その後現在は** …… 精北小学校と東光小学校の特別支援学級での試行導入に向けた準備が整い、2学期の授業で活用する予定をしています。(学校教育課)

## 庁舎4階の有効活用、備品の整理が必要だ

**その時の答** 文化財・書籍・昔の農機具などの仮置き場に利用しているが、今後、4階の活用時に収蔵方法などを考えていく。

**その後現在は** …… 現在、4階の利活用も含めた庁舎長寿命化利活用の計画を策定中で、平成29年3月には基本構想を策定し、今年度は基本計画を進めているところです。

この計画の中で、4階に仮置きしている文化財、書籍や昔の農機具類等についても、今後の計画等で収蔵方法等の検討を進めていくと共に、既存倉庫等の活用見直しも行い、収蔵場所の確保を進めます。

(総務課)



### 新議員紹介

山口 利忠氏

勝島議員の逝去に伴い、平成29年6月30日選挙管理委員会が開催され、5月の選挙において、次点の山口利忠氏が繰り上げ当選となりました。



○平成29年8月8～9日  
研修内容  
○鳥取県大仙町  
「議会だより」だいせん

広報  
常任委員会

編集の理念」のレジュメ・パワーポイントを使つて大山町の思い・各ページの作り方など説明を受けた。  
Aは①特集記事の取り組み  
Aは、委員が住民・団体の活動の場へ行き、取材を通して課題共有するなど、住民・団体との意見交換をしており、また表紙は住民に登場してもらう特集記事の関連写真である。毎号担当を決め、担当の思いを紙面に出している。

①SNSの活用はフェイスブックの運用について。各地域の現場情報を委員がリアルタイムにSNSにアップしている。そのためのルールづくりをしている。主に発信のツールとして利用している。

## 議会改革 議会防災訓練を実施!!

町の防災訓練が8月27日に開催され、「災害時における議会の対応規程」に基づき、初期対応や議会の役割などを確認した。

同日、町全域で震度6弱から強を観測したとの想定で、行政側に「災害対策本部」が設置されたことを受けて、議会に「災害連絡会議」を設置。安否確認、災害の情報共有などの訓練を行った。



## お知らせ

■次回、平成29年度定例会12月会議は、平成29年12月5日(火)からはじまります。

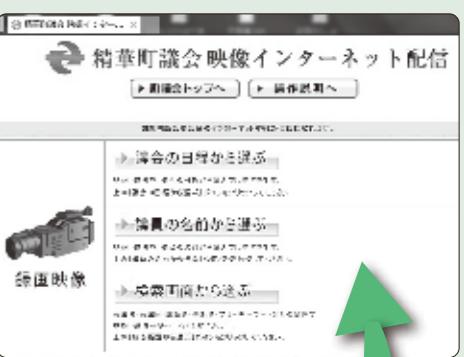
12月会議に、請願・陳情・要望書の提出をされる方は平成29年11月27日(月)午後5時までに、精華町議会事務局(町役場6階)へ提出してください。

あなたも議会を傍聴しませんか  
インターネット中継をご覧ください。

日程については、議会事務局へお問い合わせください。TEL: 95-1908 FAX: 95-3972  
<メールアドレス> gikai@gikai@town.seika.lg.jp

議会だより・会議録が「精華町議会」ホームページより検索できます。

<http://www.town.seika.kyoto.jp/gikai/>



# 街をつくる人

79

せいか食育劇団  
もぐもぐ

★子どもたちに届けます。もぐもぐ食べて元気ならだ★



**もぐもぐ  
の誕生**

せいか食育劇団もぐもぐは平成20年に設立し、今年で10年目を迎えました。きっかけは「町民に元気で暮らしてもらうために、町民同志が仲間を見つけ楽しいことをやってさらに周りの人も巻き込み、元気な人をどんどん増やす」第1期健康増進計画が精華町で作られ、その仲間作りの呼びかけに多くの人が集まりそれぞれ仲間を見つけて6つの楽しいプロジェクトが活動を開始しました。

その1つ、「食」で楽しいことをしたいと集まつた仲間は、小学校などで読み聞かせをしている者や子育て地域パートナーで頑張っている者、地域の食生活改善に取り組んでいる者、社会教育委員など地域もばらばらでしたが、楽しくおもしろいことをしようという思いは全員一致。

これから成長していく子ども達に、食べることの大切さをわかりやすい内容で、食育劇にして伝えていたら、そして私たちも楽しんでもっと元気になろう！と全員演技経験のない素人おばちゃん7人、せいか食育劇団もぐもぐの旗揚げです。

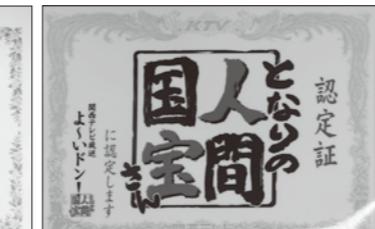
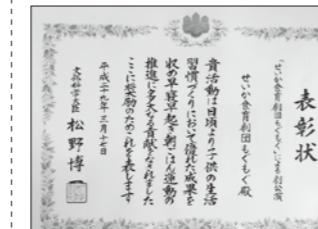
「せいか食育劇団もぐもぐ」代表 宮本 潤子

**【受賞歴】**

2012年「健やか親子21国民運動—8020の里賞」奨励賞  
2013年「健やか親子21国民運動—8020の里賞」優秀賞  
2014年 京都山城ロータリークラブ いづみ賞  
2014年「食育推進ボランティア表彰」（内閣府特命担当大臣からの表彰）受賞  
※京都府で初めての受賞  
2017年 優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰

**【メディア紹介】**

KBS京都「newsフェイス」  
関西テレビ「よーいドン！」となりの人間国宝さん（認定）  
NHK京都放送局「ニュース630 京のいちにち」  
KBSラジオ 笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ  
毎日新聞 京都新聞 朝日新聞



**活動内容**

子ども達に「食の大切さ」を伝えるため、精華町内の全ての保育所、幼稚園、子育てサークルを対象に毎年8回、2,000人前後の子ども達に向けて食育劇を実施しています。

公演は毎年テーマを変え「食」「生活リズム」「運動」など生活習慣改善を図る内容で、今年度は栄養バランスのとれた食事をしてほしいとの思いから、



「赤、黄、緑で大きくな～れ！」をテーマにしました。寸劇、ペープサート、体操の3部構成で子ども達が関心を持つよう楽しくわかりやすく

内容にするとともに、可愛い着ぐるみやインパクトのある食育博士などを登場させ、食育クイズや子ども達とのやりとりを交えた参加型としています。保護者へはリーフレットを配布し、食育への理解を促し、実践につながる子育て支援を行なっています。

10年がたち、周りの方を巻き込みメンバーも20人と増えました。大きな財産は子ども達からたくさん元気をもらい、喜びを感じることができます。メンバー全員思っていること。演じることの意識も変わってきました。これからも楽しく子ども達から一杯元気をもらい、演じ続けていきます。



**メンバーの声**

**片山千香子**

食育劇団もぐもぐの活動が10年目に入るなんて、改めて聞くとびっくりです。でも振り返ってみると、それだけ夢中で活動してきたんだなあと思います。考えてみてください。保育所や幼稚園の園児達が、60才過ぎたおばさんに、ニコニコ笑いながらハイタッチしてくれるんですよ。こんなボランティア、素敵だと思いませんか？

**近藤かほる**

食育劇団「もぐもぐ」に発足当初から参加し、寸劇やペープサート等、少し頑張ればできそうな役に手を挙げ活動してきました。

毎年、テーマを決め仲間と劇を作りあげていく過程も楽しんでいます。

劇を通じ、食について大切な色々なことを伝えたときの生き生きした子どもたちの笑顔や声に元気をもらえるのが一番です。

**福味真樹紅**

子どもたちの届いた笑顔ときらきらした目に見つめられながらの10年。どのように表現すれば子どもたちに喜んで貰えるか、記憶にとどめて貰えるか。これをメンバーと共に、真剣に考え作り上げていく喜びを感じています。この活動を通して、年代や住む地域も違う多くの仲間が出来たことも私にとって財産になっています。

精華町在住で、ご興味のある方は、精華町役場健康推進課 TEL.95-1905 へお問合せください。



ギャラリー

Gallery Hana

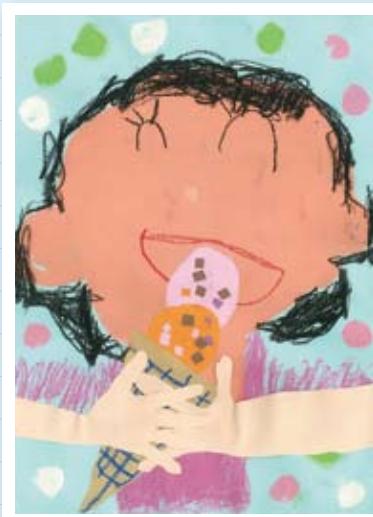
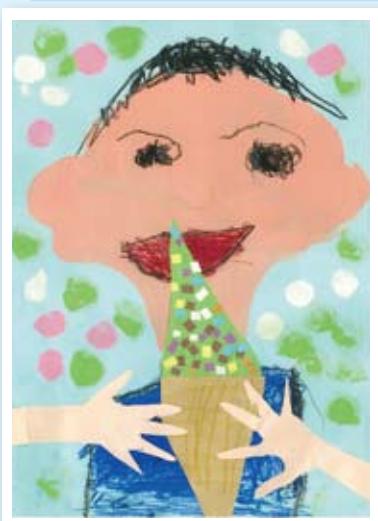
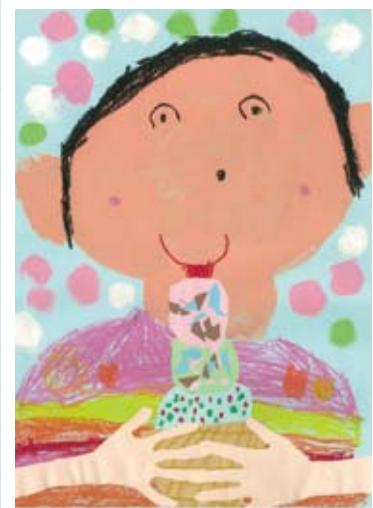
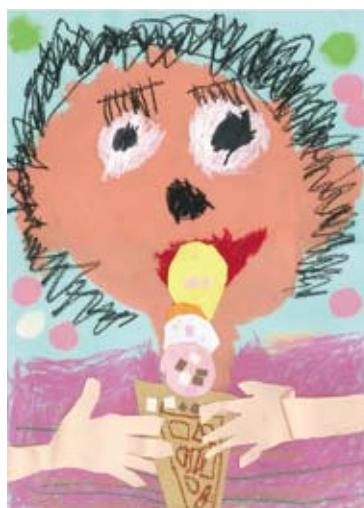


ほうその保育所

幼児の作品



# アイスクリーひとわたし



## 表紙撮影者 “ひとつ”

精華町防災訓練。

なかなか難しい、

消火器での初期消火訓練

○撮影日：平成29年8月27日（日）

○撮影場所：山田荘小学校グランド

○撮影者：広報委員

## 編集後記

8月に台風5号が日本列島を縦断する進路をとり、日本各地に、甚大な被害をもたらしました。本町においては、土砂災害危険地域に避難所を開設するなど、対応に追われましたが、幸いにも大きな被害もなく、通り過ぎ去りました。

今年は、山田荘小学校区において防災訓練が実施されました。参加していただいた住民のみなさまにとって、真剣な訓練と体験を通じて、いざという時、「何が必要か。」「何ができるか。」を改めて考える機会となったと思います。昔からのことわざを実感しています。

《備えあれば、憂いなし》